

いなかのりんじん

あぐろげいとーん

編集：九州教区教会協力委員会

※あぐろげいとーん：ギリシア語で「田舎の隣人」の意味。都会の隣人と違い、互いに支え助け合う仲間となることを願って。

つながっている

教会協力委員長 深澤 奨

佐世保教会の現住陪餐会員約70名の受洗した教会を調べてみると、約25%18人が佐世保教会以外の教会であることがわかります。この割合がよそと比べて多いのか少ないのかわかりませんが、いずれの教会も一定程度の転入者転出者があるのではないかと思います。

九州教区126の教会・伝道所のうち、一つの市町村に教団の教会がそこしかないという教会は、61教会・伝道所にのびります。その町に引っ越せば、その教会に行くしかないということです。僕がお訪ねしたある教会では4人の教会役員全員がそれぞれ異なる教会で洗礼を受け、異なる教派的背景を持つ方だというケースがありました。互いにそれぞれの信仰を受け入れながら、仲よく支え合って、一つの教会を建てあげておられました。これぞ日本基督教団だと思われました。

日本基督教団の教会である限り、どの教会も純粹に自分だけで建ち得ているということはありません。信徒も牧師も他の教会とつながり合い、あるいは他の教会で育てられ、あるいは将来、どこか他の教会にお世話になるかもしれないのです。

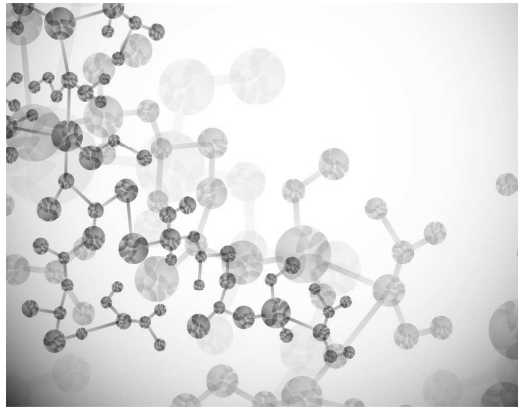
僕個人のことを言いましょう。僕は九州教区のお世話になってもうすぐ丸18年になりま

す。九州教区の交わりの中でどれほどたくさん牧師たちと出会い、学ばされ、刺激を受け、慰められ、励まされてきたことでしょう。他の教会の本当に素晴らしい信徒たちと出会い、尊敬の念を覚え、ああこの信徒によってあの牧師は支えられ、鍛えられ、牧師であることを許されているんだなあと思わされてきたことでしょう。それらの出会いなくして僕は毎週の説教を語ることはできなかつたし、牧師として働き続けること自体できなかつただろうと思うのです。

この年末、僕は病気を患いしばらく入院をしましたが、年が明け、退院して教区の集会に参加した時、たくさんの教師と信徒から心配の声をかけていただきました。「教会の祈祷会でお祈りさせていただきました」「礼拝の司会で祈るとき、先生のことをお祈りしました」という方もありま

した。ある教会からは寄せ書きが届きました。見知らぬ信徒の方々の名前がたくさんあって、「ああ名前も知らぬ人たちから九州教区につながりというだけで祈っていただいているんだな」、そう思うとありがたくて涙が出ました。

そうした互いのつながりを否定し、自分の教会だけで建っている、或いは自分の狭い仲間内の教会だけで建っていると思ひ込むなら、それはどんなに淋しいことでしょうか。貧しいことでしょうか。その寂しさ、その貧しさの中にとどまっている教会が3月7日現在で46教会もあるとは、何とも嘆かわしい限りです。



2017年3月7日現在

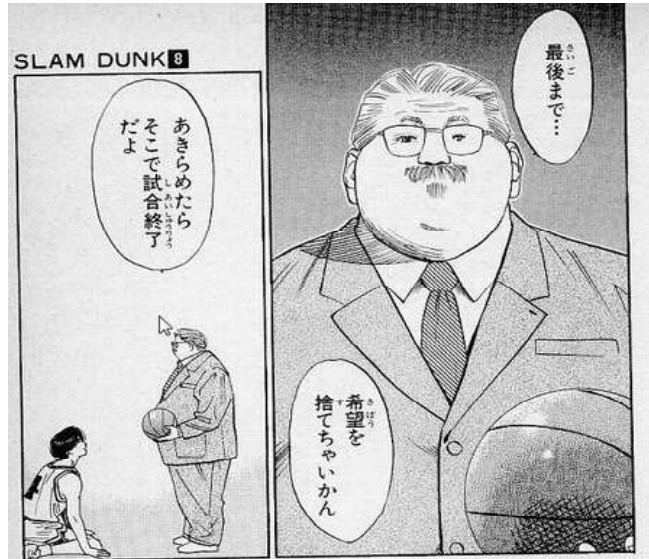
教会名	教会互助 献金	教会緊急 援助献金
門司	※ 40,000	0
門司大里	※ 47,000	0
門司白金	※ 13,000	0
小倉東篠崎	※ 202,300	0
小倉日明	0	0
北九州復興	60,000	0
小倉徳力	0	0
戸畑	0	0
八幡荒生田	0	0
八幡鉄町	0	0
八幡西	0	0
若松	※ 100,000	0
若松浜ノ町	※ 114,500	0
直方	0	0
飯塚	※ 77,700	0
田川	41,800	0
行橋	52,900	0
椎田(伝)	0	0
宮田	25,000	0
犀川	※ 79,000	0
小計	853,200	0
福岡中部	※ 626,000	0
福岡警固	※ 331,400	0
福岡城東橋	※ 167,200	0
福岡渡辺通	※ 52,000	0
福岡社家町	0	0
西福岡	10,000	0
福岡弥生	※ 165,500	0
福岡玉川	※ 20,000	0
福岡南	30,000	0
福岡女学院	315,000	5,000
香椎	※ 60,000	0
周船寺	0	0
前原	0	0
春日東	※ 65,000	0
筑紫	0	0
津屋崎	38,000	0
東郷	283,900	0
赤間	0	0
粕屋	0	0
小計	2,164,000	5,000
久留米東町	117,000	0
久留米櫛原	0	0
大牟田正山町	※ 220,600	0
筑後福島	20,000	0
羽犬塚	36,000	0
瀬高	0	0
筑後小郡	0	0
小計	393,600	0

2017年3月7日現在

教会名	教会互助 献金	教会緊急 援助献金
佐賀	36,140	0
唐津	※ 49,200	0
武雄	0	0
伊万里	30,000	0
相知(伝)	100,000	0
有田	32,700	0
波佐見(伝)	0	0
小計	248,040	0
長崎	0	0
長崎銀屋町	190,100	0
長崎馬町	11,100	0
長崎飽之浦	48,400	0
長崎古町	0	0
長崎平和記念	0	0
長崎滑石	0	0
佐世保	※ 335,200	3,000
佐世保比良町	※ 102,800	0
諫早	0	0
多良見(伝)	50,000	0
大村	23,000	0
島原	※ 88,100	0
平戸(伝)	24,000	0
小計	872,700	3,000
熊本白川	0	0
熊本草葉町	※ 20,000	0
錦ヶ丘	50,000	0
熊本城東	84,000	0
武蔵ヶ丘	0	0
八代	0	0
荒尾	73,000	0
山鹿	0	0
天草平安	※ 44,200	0
隈府	0	0
合志豊岡(伝)	0	0
小計	271,200	0
大分	※ 313,800	10,000
大分東	0	0
別府野口	※ 40,000	0
別府	0	0
別府不老町	※ 25,000	0
中津	0	0
佐伯	※ 3,000	0
臼杵	0	0
津久見	※ 3,000	0
竹田	※ 25,000	0
杵築	※ 35,420	0
豊後高田	0	0
日出	0	0
国東	※ 46,500	0

今年度は年度初めに熊本・大分地震が起きました。そのために諸教会でどれほどの献金がささげられ、あるいは実際に体を動かしてのご奉仕がささげられたことかと思えます。もしかしたらその影響が出ているのでしょうか。

いいえ。困難の中で、ささげ合い、ささえ合うことの大切さに気付いた者は、



こっちを削ってあっちに回すなどということはしないはずです。いや、そう信じて。実際、このたびの被災地において甚大な被害を受けたいくつかの教会が、今年度久しぶりに互助献金をおささげくださいました。困難は、むしろわたしたちのささえ合う思いと力を増し加えるのです。

どうか諸教会の皆様、教師の皆様、今すぐ郵便局に振込用紙とお金を持って走ってください。あるいは教区事務所へ直接お届けください。「ゼロ」で年度末を迎えることはお避け下さい。教師は、※のしるしがつかないまま終わることのないようにしてください。

教会名	教会互助献金	教会緊急援助献金
三重	92,800	0
犬飼	5,000	0
玖珠	10,000	0
佐賀関	※ 21,500	0
由布院	55,000	0
宇佐	5,000	0
小計	681,020	10,000
宮崎	※ 130,000	0
宮崎清水町	※ 165,000	0
宮崎中部	0	0
都城城南	0	0
都城妻ヶ丘	0	0
延岡城山	0	0
延岡三ツ瀬	0	0
延岡使徒	0	0
日向新生	0	0
飫肥	※ 5,600	0
小林	54,000	0
日向福島	※ 11,000	0
西都	※ 15,400	0
高鍋	※ 27,000	0
都農	10,000	0
小計	418,000	0
鹿児島加屋町	270,000	0
鹿児島	30,000	0
阿久根(伝)	※ 12,960	0
川内	※ 143,000	5,000
串木野	0	0
国分	※ 80,000	0
指宿	※ 49,700	0
志布志	※ 15,000	0
鹿屋(伝)	8,000	0
小計	608,660	5,000
喜界	0	0
瀬戸内	※ 46,400	0
名瀬	※ 35,000	0
徳之島(伝)	0	0
小計	81,400	0
その他	168,000	13,000
合計(累計)	6,759,820	36,000

今回は思い切って諸教会の献金状況を掲載させていただきました。正直、危機感を抱いています。約3週間を残してこの状況では、はるかに目標を下回った昨年の実績よりも、さらに下回ることが確実と思われます。

各地区委員長からのメッセージ③

「諸教会の祈りと応援をいただき」

北九州地区委員長 久多良木和夫
(北九州復興教会)

主の尊い御名を賛美します。

九州教区において、互助の働きを通して会計に困難を覚えている教会を覚え祈り支え合う歩みがあることは幸いなことだと思います。

私自身は、1985年3月、東京聖書学校という神学校を卒業して、4月より千葉支区北総分区にある一つの教会に赴任しました。教会員はおよそ15名、年間予算は200万円ほどでした。私は、神学校を出たばかりだったので、北総分区のある一つの教会の年配の主任担任の先生が3年間指導をしてくださいました。

その教会は、創立されておよそ50年の教会でした。30年以上、無牧、兼牧の時代を経てその時に至っていました。私が着任する前も3年間無牧でした。その教会が、そのような長い無牧、兼牧時代を経て、立ち続けることができた背景には、教会員が心を合わせて礼拝を守り続けたことがあります。北総分区の諸教会に覚え祈られ、数名の教師が礼拝の御用等で支えてくださったことも大きかったと思います。

教会の会計がとても厳しいこともあり、神学生4年生の時に派遣奉仕をさせていただいた横浜のある一つの教会の主任担任の先生に、少しでも応援いただけないでしょうかとお願いの手紙を出しました。するとなんと、私が着任した教会に月々に応援をしてくださるようになりました。その教会は、私の後の教師

の時代にも、月々の応援をしてくださいました。感謝に堪えませんでした。

その教会は、礼拝堂をずっと前に建てたのですが、牧師館を併設する余裕がありませんでした。その時、教会員の中のお一人が靴屋さんで、使っていた2階建てプレハブ倉庫を献品されました。それを礼拝堂にくっつけ、1階を教会の事務室と台所として、2階を牧師館として使用していました。

2階にある牧師館に上がるには外階段を使いました。外階段ですから、雨風が強い時には、靴はびしょびしょに濡れ、時には吹き飛ばされ下の地面に落ちることがよくありました。雨風が強い時には、慌てて靴を部屋の中に入れました。2階にはトイレがないので、夜でも外階段を通して鍵を開け、1階にあるトイレに行かねばなりませんでした。

2年を過ぎて、結婚することになった時、牧師館をそのまま使うか、それとも小さな増築をして階段を内階段にするかということの中で、教会の年間予算と同じほどこかかるということで、増築は難しいと判断されました。しかし最終的には、年度末の役員会の時に、1名、2名、3名とこのために私はこれだけ献金しますという申し出があり増築を決断しました。その時に、諸教会の応援もいただき、必要が満たされました。内階段を通して、1階に行くことができるようになりました。多くの方々の支えと応援をいただけて幸いな環境が与えられたことは大きな感謝でした。

自分自身が教師として歩み出した最初の教会の3年間、多くの教会に覚えて祈っていただき支えていただいたことを、30年以上経った今も感謝のうちに思い出します。

2016年度教会互助献金最終中間報告

	2017年3月13日現在	前年同時期
教会互助献金(目標100万円)	7,121,220円	7,461,645円
教会互助献金参加教会数	83/126	43教会がまだ0です!
教師互助献金参加教師数	53人	年収の1%をぜひ!